

# 第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 0701001

政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 放課後子どもプラン推進事業実施要綱
基本施策	8 子育て・子育ての充実	事業優先度	A	
単位施策	1 「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	放課後子どもプラン推進事業	見直し年度		
事業期間	平成20年度～平成24年度	担当課	7 児童センター	
事業主体	雄武町	関係課	12 教育委員会教育振興課	
事業指標	年間開設日数 利用者数		5 保健福祉課	
事業目標	306日 10,000人	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	1 行事への参加	関係例規・法令名	2 ⇒	
		関係個別計画名	1 雄武町次世代育成支援行動計画	

全体計画 事業内容		平成20年度 事業内容	平成21年度 事業内容	平成22年度 事業内容	平成23年度 事業内容	平成24年度 事業内容	
計 画 内 容	放課後児童健全育成事業 行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流	行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流	行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流	行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流 周辺校児童(雄武小以外)の迎え (町単費)	行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流	行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流	
	事業費(千円)	19,989	3,220	3,220	5,409	4,070	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	12,218	1,508	2,038		2,672	
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	7,771	1,712	1,182	2,081	1,398	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	19,603	3,198	3,082	5,189	4,046	
	財源内訳						
	国庫支出金	1,525			1,525		
	道支出金	12,395	2,146	2,147	2,672	2,713	
	地方債	0					
	その他	68	15	10	15	13	
	一般財源	5,615	1,037	925	977	1,318	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) ・放課後子どもプラン 推進事業補助金 ・臨時職員雇用保険料	【評価・実績】	(実施内容等) 放課後児童健全育成事業 行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流 (実績:307日、11、487人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 放課後児童健全育成事業 行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流 (実績:307日、9、646人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 放課後児童健全育成事業 行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流 周辺校児童(雄武小以外)の迎え (実績:307日、11、035人) ※前年度評価結果 A-継続/拡充	(実施内容等) 放課後児童健全育成事業 行事体験活動 クラブ活動 異年齢との交流 (実績:308日、11、365人) ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	
	第4期総合計画関連 (継続有り)	年度目標値	306日 9,000人	306日 9,000人	306日 10,000人	306日 10,000人	306日 10,000人
		年度達成率		99%	96%	96%	99%
		全体達成率		16%	31%	57%	78%
		事業進捗状況		☆☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆

事業名	放課後子どもプラン推進事業	評価者 管理職 職氏名	児童センター館長	豊田 通敏
		評価者 作成者 職氏名	児童センター係長	内藤 肇昭

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	保護者が就労等により、昼間留守家庭となる児童(小学生)。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	開設日数、利用者数								
【抱える課題やニーズは】	留守家庭児童の安全な居場所づくり	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童の学校終了後の安全確保と異年齢者との関わりを通して自主性・社会性を養う。	① 児童クラブ年間開設日数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>306日</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>305日</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>99.7%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	306日	実績値	305日	達成度	99.7%
目標年度	平成24年度										
目標値	306日										
実績値	305日										
達成度	99.7%										
【その結果、どのような成果を実現したか】 ※成果=目的	留守家庭児童の健全育成を図り、保護者の子育てと就労の両立を支援する。	② 児童クラブ年間利用者数	<table border="1"> <tr><td>目標年度</td><td>平成24年度</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>10000人</td></tr> <tr><td>実績値</td><td>11898人</td></tr> <tr><td>達成度</td><td>119.0%</td></tr> </table>	目標年度	平成24年度	目標値	10000人	実績値	11898人	達成度	119.0%
目標年度	平成24年度										
目標値	10000人										
実績値	11898人										
達成度	119.0%										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①開設日・時間	○ 開設日 月曜日～金曜日、休校日(土曜日・祝日・学校が特別に休みとした日) ○ 時間 平日 授業終了後～17:30、休校日 8:00～17:30(弁当対応)									
	②児童クラブの分割	登録者増加に伴い2クラブにし、放課後児童指導員を増員した。									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	登録児童数は年々増加しており保護者のニーズが増している。事業を実施しない場合、児童の安全性が確保されず、保護者が安心して就労できない。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	保護者が安心して就労に専念でき、子どもの安全対策が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	児童センターで実施することにより、無駄なく事業実施が可能である。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

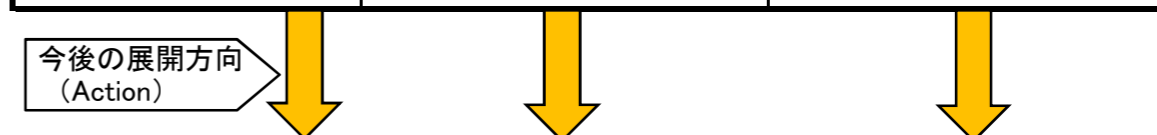
公平	判断の理由	年間を通して町内全ての児童が利用できる。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
児童クラブを2クラブにし、児童指導員を増員したことにより、より一層児童が安心して過ごせる場を提供することができた。		



継続/現状維持		
少子化傾向にあるものの、登録児童数は増加傾向にあり、今後も2クラブにして事業を進める。		

※展開方向の区分  
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
 終了  休止  廃止